

会議録

会議の名称	令和4年度第1回東松山市地域自立支援協議会全体会					
開催日時	令和4年11月2日（水曜日）			開会	午後 2時	
				閉会	午後 4時	
開催場所	東松山市民文化センター1階大会議室					
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議事 (1) 各プロジェクト・連絡会議からの報告 (2) 第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画に係る令和3年度実績について 4 その他					
公開・非公開の別	公開		傍聴者数		2人	
委員出欠状況	会長	朝日 雅也	出	委員	澤井 太二郎	出
	委員	丹羽 彩文	出	委員	矢部 智之	欠
	委員	岸澤 進	欠	委員	浅野 聖子	出
	委員	武田 耕典	出	委員	羽鳥 良江	出
	委員	松井 治子	出	委員	林 俊之	出
	委員	上野 秀爾	出	委員	狐塚 汐里	欠
	委員	池永 和美	出	委員	小暮 晴彦	出
	委員	大野 喜裕	欠	委員	森田 暢宏	出
	委員	恵賀 正治	出	委員	山崎 裕司	出
	委員	奥村 一彦	出	委員	山口 聡	出
	委員	若尾 勝己	出	委員	榎本 淳也	欠
	委員	戸森 健治	欠	委員	古澤 勝正	出
	委員	杉浦 翔太	出	委員	新井 亮子	出
	委員	落合 要之	出	委員	久保田 慶一	出
	委員	吉田 茜	出	委員	小谷野 貴久	出
委員	荻野 裕	出	委員	田島 信子	出	
事務局	健康福祉部 今村部長			健康福祉部 高荷次長		
	障害者福祉課 成川主幹			障害者福祉課 谷口主任		

次 第	顛 末
<p>1 開会 事務局 (障害者福祉課 成川主幹)</p> <p>2 あいさつ 朝日会長</p> <p>事務局 (障害者福祉課 成川主幹)</p>	<p>本日は公私とも大変お忙しいところ、お集まりをいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>ただ今から「令和4年度第1回東松山市地域自立支援協議会全体会」を開会いたします。本日は、感染防止に注意を払いながら、会議をすすめてさせていただきますので、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>申し遅れましたが、私は、本日の司会を担当いたします障害者福祉課の成川と申します。行き届かない点もあろうかと存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>はじめに、本協議会の会長であります、朝日会長よりご挨拶いただきます。</p> <p>— あいさつ —</p> <p>朝日会長、ありがとうございました。</p> <p>本日の会議は、委員改選後、対面形式での初めての会議でございますので、これより委員の皆様をご紹介させていただきます。本来ならばマイクをお回しして、お一人おひとりに自己紹介をお願いしたいところではございますが、コロナ禍でもございますので、私の方で所属とお名前をお呼びいたしますので、その場でご起立いただき、お顔を拝見させていただきますたいと存じます。</p> <p>— 全体会委員紹介 —</p> <p>続きまして、幹事会からご出席いただいている委員の皆様のご紹介をさせていただきます。</p> <p>— 幹事会委員紹介 —</p> <p>続きまして、事務局を紹介申し上げます。</p> <p>— 事務局職員紹介 —</p> <p>なお、本日の会議でございますが、質疑等においては、マイクを回させていただきますが、複数の方が使用した場合は、都度、消毒をさせていただきます。ご理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>本日の会議の会議録作成にあたり、出席委員2人の方に署名をお願い</p>

<p>事務局 (障害者福祉課 谷口主任)</p>	<p>したいと存じます。本日の会議録につきましては、丹羽委員と浅野委員 にお願いいたします。後日、会議録ができましたら事務局よりご連絡を 申し上げますので御署名をお願いいたします。 それでは、議事に入る前に資料の確認をさせていただきます。事務局 より確認をお願いします。</p> <p>— 資料確認 —</p>
<p>事務局 (障害者福祉課 成川主幹)</p>	<p>それでは、議事に入ります。議事につきましては、東松山市地域自立 支援協議会開催要綱により、会長が進行を務めることとなっております ので、朝日会長よろしくをお願いいたします。</p>
<p>朝日会長</p>	<p>皆様のご協力をお願いいたします。議事に入る前に確認事項がござい ます。東松山市審議会等の会議の公開に関する要綱では公開・非公開の 決定を会に諮って決めることになっています。公開の場合傍聴希望者が いらっしゃれば、傍聴いただくこととなります。事務局にお聞きいたし ます。本日、傍聴希望者はいらっしゃいますか。</p>
<p>事務局 (障害者福祉課 谷口主任)</p>	<p>2名いらっしゃいます。</p>
<p>朝日会長</p>	<p>本日は2名傍聴者がいらっしゃいます。本日の会議を公開の会議とし、 会議資料や会議録を公表してよろしいでしょうか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>— 異議なし —</p>
<p>朝日会長</p>	<p>それでは、本日の会議を公開とし、傍聴者に入室いただきます。</p> <p>— 傍聴者の入室 —</p>
<p>3 議事 朝日会長</p>	<p>それでは議事に移ります。議事(1)「各プロジェクト・連絡会議からの 報告」になりますが、まず始めに事務局から、東松山市地域自立支援協 議会の概要についてご説明いただこうと思います。説明後、各プロジェ クト・連絡会議から令和4年度の進捗について報告していただきます。 では、「東松山市地域自立支援協議会について」事務局から説明をお願い します。</p>

<p>事務局 (障害者福祉課 谷口主任)</p>	<p>— 東松山市地域自立支援協議会について説明 —</p>
<p>朝日会長</p>	<p>ただいま事務局より説明がございました。このことについてご質問、ご意見のある方はいらっしゃいますか。 ないようですので、議事(1)「各プロジェクト・連絡会議からの報告」に移ります。質疑応答はすべての報告が終わった後でお願いしたいと思います。まず、「障害者進路支援連絡会議」から報告をお願いします。</p>
<p>木村リーダー</p>	<p>— 障害者進路支援連絡会議について報告 —</p>
<p>朝日会長</p>	<p>続いて「障害のある子どもの育ちと学びを支える連絡会議」から報告をお願いします。</p>
<p>田口リーダー</p>	<p>— 障害のある子どもの育ちと学びを支える連絡会議について報告 —</p>
<p>朝日会長</p>	<p>続いて「医療・福祉連携プロジェクト」から報告をお願いします。</p>
<p>南澤リーダー</p>	<p>— 医療・福祉連携プロジェクトについて報告 —</p>
<p>朝日会長</p>	<p>続いて「地域生活支援拠点連絡会議」から報告をお願いします。</p>
<p>林リーダー</p>	<p>— 地域生活支援拠点連絡会議について報告 —</p>
<p>朝日会長</p>	<p>続いて「普及・啓発プロジェクト」から報告をお願いします。</p>
<p>丹羽リーダー</p>	<p>— 普及・啓発プロジェクトについて報告 —</p>
<p>朝日会長</p>	<p>ただいま各プロジェクト・連絡会議より報告がございました。何かご質問、ご意見のある方はいらっしゃいますか。</p>
<p>古澤委員</p>	<p>資料19頁のレスパイトとは、どのような意味でしょうか。</p>
<p>田口リーダー</p>	<p>介護者の休息という意味になります。子どもを育てている両親が育児・介護負担を軽減したいというニーズがあり、レスパイトに関する意見をまとめています。</p>

朝日会長	<p>レスパイト事業と呼ばれていたり、普段育児・介護をしている両親等に冠婚葬祭があったときや介護者の負担を軽減するために、休息を取るときのように、事業名やその行為名としてレスパイトという言葉が使われています。</p> <p>障害のある子どもの育ちと学びを支える連絡会議では、セルフプランのメリット及びデメリットをどのように評価されていますか。</p>
田口リーダー	<p>メリットは、必要な人が必要なサービスをすぐに利用できることだと思います。デメリットは、相談支援専門員が担当しないため、関係者については、利用者とサービスを提供する事業所である2者になります。そのため、幅広い情報提供を行うことができず、また事業所に対する要望や改善を事業所に伝えづらくなることを危惧しています。</p>
朝日会長	<p>メリットとデメリットの両方を勘案しながら、評価していることが分かりました。セルフプランは、自由が利く半面、専門的な関わりや提供等が行いづらい点を説明してもらいました。</p> <p>続いて、障害者進路支援連絡会議が実施するキャリアデザインフォーラム等に関連して、ワークキャリアについて、若尾委員からご意見をいただきたいと思います。重度の障害を持つ子どもにとって、キャリアデザインをどのように考えればよいでしょうか。</p>
若尾委員	<p>重度障害ということだけではなく、生活全体の質をどのように担保するのかが、就労支援の業界でも非常に課題になっています。また、障害が重度であっても、働く場に立てるような状況をどのように進めていくかが、ライフキャリアを考える上で大事な視点になります。国の政策では、超短時間労働の流れやダイバーシティという視点で障害のあるなしに関わらず、働きづらさを抱える人たちがどのように社会で活躍できるかを政策上考える流れになっています。働くという視点だけではなく、どのように生活していくかがテーマになっています。</p>
朝日会長	<p>重度障害だから働けないということではなく、働く上でその障害に対してどのように環境が変わっていけるかになります。働くについても、フルタイムで働くということだけではなく、社会的な役割を果たす機会が増えることが大切です。先ほどの障害者進路支援連絡会議の報告では、ライフキャリアの視点に立って協議していきたいということでしたが、その意味付けを考えることが大切だと思います。若尾委員から国の政策について情報提供がありました。そのほか、次回の障害者総合支援法の改正では、新しい事業で就労選択支援が導入されます。色々な環境を整えることにより、就労の後押しになります。しかし、就労自体の有り様を問い直していかなければいけませんし、情報提供や体験する機会が</p>

<p>丹羽委員</p>	<p>ないと自分に合った仕事なのか分からないと思います。</p> <p>障害のある子どもの育ちと学びを支える連絡会議について、資料20頁のとおり、東松山市では2007年に就学相談の仕組みを導入して、全国に先駆けてインクルーシブな取組や連携を行ってきました。国では、来年度から子ども家庭庁が設置され、文部科学省はその中に入っていないため、連携面で不安視がされています。東松山市では、従前から保育や教育の連携が図れています。しかし、最近は障害児通所事業所が営利を追求するあまり、子どもを見るよりもお客様を集客することを優先する動きがあります。子どもたちが分断をされてきている印象があります。分断や分離に鈍感になると、大人になってからさらに分断等に鈍感になってしまいます。最終的にはそれを行った人が分断・分離の対象になるサイクルに陥ってしまうのではないかと考えます。障害のある子どもたちが一緒にいれば良いのかという意見もありますが、まずは一緒にいることから始めないと関係性がスタートしません。東松山市ではそのような場について、さらに進めていただきたいと思います。その中で様々な子育て施策が展開されていき、自立支援協議会としての機能をコミットしていく必要があると思います。障害児分野、子育て分野では、それぞれが会議を開催していますが、横の連携や会議同士を繋ぐことについて、田口リーダーはどのようなお考えでしょうか。</p>
<p>田口リーダー</p>	<p>障害のある子どもの育ちと学びを支える連絡会議では、子育て支援課と連携を図りながら、情報共有をしながら、進めていくことを8月9月の会議で確認したところです。本日の全体会を皮切りに、子育て支援課や教育委員会と取組を共有しながら事業を進めていきたいと思います。しかし、丹羽委員から質問があった、どこの場所でどんな展開ができるのかについては、私は計り知れないところです。</p>
<p>丹羽委員</p>	<p>冒頭の朝日会長からの話にもあったとおり、障害者権利条約の対日審査では、日本の分離教育について懸念が示されています。しかし、文部科学省からは早々に、日本の教育はこのまま進めていくという大臣による声明発表がありました。それよりも進んで取り組んできた東松山市は、障害者権利条約を上手に後押しするように取り入れて、今後も進めてもらいたいと思います。会議体では有機的な議論を交わしていただきたいと思います。</p>
<p>朝日会長</p>	<p>教育の現場から池永委員、小暮委員、森田委員、恵賀委員はご意見いかがでしょうか。</p>
<p>池永委員</p>	<p>幼稚園の障害のある子どもの受入について、埼玉県に申請を行うため</p>

<p>小暮委員</p>	<p>に必要な子どもの診断書を提出してもらうことに、保護者は理解してもらいづらいです。</p> <p>私もこれまで障害のある子どもの育ちと学びを支える連絡会議の事業に関わってきました。サポート機関として、様々な機関とネットワークが繋がることは良いことだと思います。現在は段々とネットワーク等が広がっていくところから、徐々に定着するところへ変わってきていると思います。学校の中では、昔の隔離教育のようなネガティブなイメージは払拭されています。埼玉県は全国と比べて、子ども本来の力を伸ばす、育てていくところは進んでいると思います。専門的な知識や経験を持った教育は不足しているため、サポート体制を整備する指導者の育成は必要です。</p>
<p>森田委員</p>	<p>インクルーシブ教育を進めていく中で、専門的な教育を行うことを目的に特別支援学校では、コーディネーターを市内学校に派遣し、支援を行っています。私も以前はコーディネーターを担当していました。教育という立場では、東松山特別支援学校、川島ひばりが丘特別支援学校、通常学校は変わりません。教育の専門家として子どもに関わることが大切だと考えています。東京都にある心身障害児総合医療療育センターの北住先生は、「関係性は専門性を超える」とお話していました。子どもを見ている保護者や子どもと関わりが深い教員等は関係性が強いので、一部の面では、医者よりも専門性が高いところもあるということです。そのようなことを考えると、通常学級等に関わっている教師は、子どもと関係性が高いため、その関わりを大切にしていきたいと思います。それでも残ってしまう専門性については、特別支援学校としては選択希望として支援ができるのではと思います。小中学校と特別支援学校との関係については、教育という基盤を持ちながら、専門性というところで障害のある子どもたちに支援をより充実して進めていきたいと思っています。</p>
<p>恵賀委員</p>	<p>特別支援学校に通学する児童は増えてきています。そのため、特別支援学校の教室不足の問題が起きています。そのため、近隣だと、普通高校である北本高校の中に特別支援学校を併設していたり、令和5年度には狭山清陵高校や旧岩槻特別支援学校の敷地内に特別支援学校が開設されます。本校のコーディネーターについても、市内の小中学校に派遣し、地域に貢献させていただいているところです。また、医療的ケアを受けていたり、人工呼吸器を装着している生徒は、通所先が少ないという課題があります。受入れをしてもらえる施設が増えると良いと考えます。</p>
<p>朝日会長</p>	<p>資料20頁について、東中学校は巡回相談が希望なしと記載されていますが、どのような理由でしょうか。</p>

田口リーダー	具体的な理由は確認しておりません。しかし、その後、希望があれば、連絡をしてくださいと学校には伝えています。
朝日会長	公募委員として参加されている新井委員、杉浦委員は、これまでの報告や議論を聞いて、ご意見があればお聞かせください。
新井委員	NPO法人として、性教育や障害に関することを様々行っています。私の子どもは障害のある子どもと一緒に授業を受けたりしています。一緒にいることで分かることや分からないことがあるので、大事だと思います。また、放課後等デイサービス事業所が乱立している印象があります。その他、ヤングケアラーの支援について知りたいと思いました。
杉浦委員	家族に障害のある者がおり、当事者家族として今回参加しています。それぞれの連絡会議やプロジェクトについて報告を受けましたが、非常に分かりやすく、市民としても活用していきたいと感じました。入口として、テーマがあり連絡会議やプロジェクト毎に分かれていることは理解しましたが、取組を進める中で、それぞれ縦割りではなく、横の連携も図ってほしいと感じました。
古澤委員	引きこもりや発達障害に関する相談窓口はどちらになるのでしょうか。
朝日会長	事務局にお伺いします。ケアラー支援は自立支援協議会の中ではどのように位置づけられているのでしょうか。
事務局 (障害者福祉課 成川主幹)	自立支援協議会ではありませんが、行政としての取組を申し上げます。埼玉県では、令和2年3月に埼玉県ケアラー支援条例を制定し、11月を「ケアラー月間」と定め、フォーラムの開催などを通じて、ケアラー・ヤングケアラーのことを知ってもらい、支援に対する協力の輪を広げ、ケアラーが孤立することのない社会の実現を目指しています。本市におきましても、ケアラー・ヤングケアラーの支援につきましては、高齢者福祉部門・障害者福祉部門・児童福祉部門・教育部門が連携して支援にあたっています。皆様の日々の業務の関わりの中で、ケアラー・ヤングケアラーについて、何かお気づきの点、ご心配なこと等ありましたら、市の方にご連絡くださいますようお願いいたします。また、子育て支援課から一言申し上げます。
落合委員	当市ではヤングケアラーについて、昨年度小学校5年生、6年生、中学校1年生、2年生を対象に調査を行っています。また、支援が必要と

	<p>思われる子どもについては、要保護児童対策地域協議会で情報共有をして、支援に繋げています。行政のみでは、ケアラー・ヤングケアラーについて把握することが難しいため、皆様から情報提供をいただけると幸いです。</p>
<p>事務局 (障害者福祉課 成川主幹)</p>	<p>引きこもりに関する相談窓口は障害者福祉課になります。就労に結びつかない、引きこもりになっている等の相談がございましたら、ご連絡をお願いいたします。</p>
<p>朝日会長</p>	<p>その他、何かご質問、ご意見のある方はいらっしゃいますか。ないようですので、議事(2)「第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画に係る令和3年度実績について」に移ります。事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (障害者福祉課 谷口主任)</p>	<p>— 第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画に係る令和3年度実績について説明 —</p>
<p>朝日会長</p>	<p>ただいま事務局より報告がございました。何かご質問、ご意見のある方はいらっしゃいますか。 ないようですので、それでは、これで議事を終了し、議長の職を解かせていただきます。皆さんご協力ありがとうございました。</p>
<p>事務局 (障害者福祉課 成川主幹)</p>	<p>朝日会長ありがとうございました。続いて、次第の4その他でございますが、委員の皆様から何かございますか。</p>
<p>荻野委員</p>	<p>— 災害時要配慮者避難体制サポート事業の概要について説明 —</p>
<p>事務局 (障害者福祉課 成川主幹)</p>	<p>他に委員の皆様から何かございますか。 事務局からご連絡がございました。1点目は本日「ケアラー月間」のチラシをお配りさせていただきました。2点目はこちらの市民文化センターの2階におきまして、11月10日(木曜日)まで、彫刻家高田博厚展2022と同時開催で、障害者作品展を開催しております。お帰りの際、お時間がありましたら、ぜひとも心のこもった作品をご覧くださいればと存じます。 連絡事項は以上でございます。 最後に、健康福祉部部長の今村より閉会にあたりまして、お礼の挨拶を申し上げます。</p>

<p>健康福祉部 今村部長</p> <p>事務局 (障害者福祉課 成川主幹)</p>	<p>— 挨拶 —</p> <p>以上をもちまして令和4年度第1回東松山市地域自立支援協議会全体会を終了いたします。</p> <p>令和4年度第2回全体会につきましては日程が決まりましたら改めてご連絡申し上げます。ありがとうございました。</p>
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>令和4年11月29日</p> <p>署名委員 <u>浅野 聖子</u></p> <p>署名委員 <u>丹羽 彩文</u></p>	